

活動報告

モチベーション研究所の2015年からの活動を紹介します。

2015年3月16日

「モチベーション研究」第4号 発行
投稿論文(査読あり)3本、フォーラム抄録2本を掲載した。

2015年3月17日

モチベーション研究所フォーラム第5回
「障害者・高齢者の自己実現を支援するーwell-beingを支える生活機能と生活機能を支える道具(機器)ー」
布川 清彦氏(東京国際大学人間社会学部准教授)を講師に迎え、東京未来大学みらいホールにて開催した。

2015年5月18日

モチベーション研究所2015年度定時総会
2015年度研究所体制ならびに収支予算書を確認するとともに、2014年度の活動報告として、公開シンポジウムや定期フォーラムの開催、「モチベーション研究」第4号発行について確認した。2015年度事業予定としては、年2回のフォーラム開催の継続、墨田区教育委員会との連携研究ならびに実践協力の継続と内容のさらなる充実、「モチベーション研究」第5号発行を確認した。

2015年11月14日

モチベーション研究所フォーラム第6回
「感謝するとwell-beingは高まるのか?」
相川 充氏(筑波大学人間系教授)を講師に迎え、東京未来大学みらいホールにて開催した。

2015年12月4日

「すみだ学力向上推進会議」において、学習意欲向上に関する墨田区教育委員会との連携研究中間報告を行った。報告者は小林 寛子研究員(「知識を身につけ、活用し、自ら学ぶ子どもを育てる」)、竹橋 洋毅研究員(「諦めないで粘り強く学習に取り組む生徒の育成に向けて」)。

2015年12月12日

日本応用心理学会との共催で、公開シンポジウム「応用心理学の未来～実社会との連携活動を目指して～」を本学B棟321教室で開催した。話題提供者は萩野谷 俊平氏(栃木県警察本部)、鈴木 公啓氏(東京未来大学)、余村 朋樹氏(労働科学研究所)、指定討論者は深澤 伸幸氏(東京富士大学)、沢宮 容子氏(筑波大学)、司会は谷口 淳一氏(帝塚山大学)。

2016年2月6日

モチベーション研究所フォーラム第7回
「恋愛と結婚における幸せ(Well-being)」
川名 好裕氏(立正大学心理学部教授)を講師に迎え、東京未来大学みらいホールにて開催した。

2016年3月22日

「モチベーション研究」第5号 発行
投稿論文(査読あり)4本、フォーラム抄録2本を掲載した。